

胎児・生殖医学

授業概要

ヒトの個体発生の概要、特に組織が形成され生後につながる臓器機能が発達してくる胎児期後半における成長の発生過程と異常について、診断と治療の概略、催奇形物質など環境因子の作用を含めて理解させる。さらに、生殖医学の最新情報について解説する。

担当教員

大谷 浩 (主担当) 教授・発生生物学
金崎 春彦 講師・産科婦人科学

授業の形式

オムニバス形式の講義、セミナーを基本とする。

教育内容

1. ヒトの胎生期の各時期に特徴的な発出現象を理解させ、またその各時期の正常および異常な発生過程に、遺伝因子と催奇形物質など環境因子がどのように関わるかについて、ヒトおよび実験動物からの知見を通して学ばせる。
2. 正常のヒト胎児における組織発生、臓器形成過程を子宮内超音波検査、経膈超音波検査、3次元超音波を通して理解させ、胎児異常の診断と治療について自ら学ばせ学習する能力を育成する。

成績評価の方法

出席および参加状況と期末に提出するレポートに基づき総合的に評価する。

使用テキスト・参考文献

内容に応じて、適宜紹介する。

教育内容

回	授業内容	担当
1	ヒト胎生期の概要	大谷 浩
2	生殖形成から三胚葉形成まで	大谷 浩
3	器官形成と組織形成	大谷 浩
4	ヒト先天異常概論	大谷 浩
5	実験奇形学	大谷 浩
6	生殖補助技術	金崎 春彦
7	性分化異常	金崎 春彦
8	胎児超音波診断法	金崎 春彦
9	胎児奇形診断	金崎 春彦
10	出生前診断技術の進歩と倫理問題	金崎 春彦
11	胚子期の遺伝子発現と形態形成機構	嘱託講師
12	臓器の発生と先天異常 1	嘱託講師
13	臓器の発生と先天異常 2	嘱託講師
14	エピジェネティクスと疾患	嘱託講師
15	胚および胎児発生と生後の疾患との関わり	大谷 浩